

川辺小だより 冬休み号

春日部市立川辺小学校
令和元年12月24日

進んで学び考える子 思いやりのあるやさしい子 元気で粘り強い子
(知恵いっぱい) (笑顔いっぱい) (元気いっぱい)

川辺小ホームページ <https://schit.net/kasukabe/eskawabe/>

視聴コントロール

校長 鈴木 美江

テレビゲームやコンピュータゲーム等は、視聴時間が長くなると脳や心に悪影響を及ぼす可能性が高いといわれ、今、「ゲーム障害」が世界で社会的な問題になっています。

新聞報道によると、『国立病院久里浜医療センターの調査では、「ゲーム障害」が重症化すると、ゲームをしたい衝動が抑えられず、昼夜逆転し、学校や仕事に行かずに引きこもりになったり、家族への暴力に発展したりすることがある』としています。対策は、ゲームをする時間を減らすことだといいます。



ゲームは、空間認知能力が高くなるなど良い影響が指摘される一方で、プレイ中には神経伝達物質ドーパミンが放出されて、麻薬と同じ中毒性があるとも報告されています。

また、東北大学の研究グループは、5歳～18歳までの200人近くの子供を3年かけて追跡調査した結果、「子供の長時間のゲームプレイが、脳機能の発達や言語知能の低下に結び付いていることが明らかにされた」として、発達期の子供については、十分に注意を払うよう呼びかけています。これらの時間が毎日2時間以上の子は「キレやすい」性格につながる恐れがあり、言語能力や思考力、持続力にも大きく影響を与えるとされます。また、毎日平均3時間くらいしている子は、加えて「忘れ物が多い」「持続性に欠ける」「ノートが雑」などの面も見られるといいます。

ゲーム等は、確かにおもしろい。しかし、何事にも限度があり、ルールが必要です。ゲームをしたりする場合は、1日1時間以内を限度に時間や時間帯をはっきりと決めることが大切です。これは、1つの家庭内ルールといえます。家庭内ルールを決め、何よりも家庭内の団らんや会話の時間を増やしていきたいものです。

◎世の中で一番難しいことは、自分を見つめること。

◎世の中で一番簡単なことは、他人を批判し、相手のせいにする事。

一年の終わりにあたり、子供とともに生活習慣を含め今年を振り返るよい機会です。振り返る際は、子供に大事にさせたいこととして、上記の事に目を向けさせるとよいです。自分を厳しく見つめることは、自分を成長させます。人のせいにしてしまうことは、一番簡単なことですが、自分のためには決してなりません。

保護者・地域の皆様におかれましては、今年も本校への様々なご支援・ご協力を頂きました。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。寒さも一段と増してまいりました。ご健康に留意され、少し早いですが、どうぞ良いお年をお迎え下さい。

校内競書会 11/28(木)・29(金)

全校で書き初め競書会を行いました。1・2年生はフェルトペン、3～6年生は太い筆を使って、大きくのびのびと書きます。今までの学習の成果を生かして、素敵な作品に仕上がりました。

書き初めの公開日には、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。



租税教室 6年生 12/5(木)

税理士の方を講師にお招きして、6年生が租税教室を行いました。日本の将来を担う若者に、税のことを知ってもらおうというねらいです。みんなの願いを実現するために、政治の仕組みの中で、どのように税金が使われているのかをしっかりと学習することができました。



川べっ子まつり 1・2年生 12/12(木)

毎年2年生が計画・準備・運営し、1年生を招待する「川べっ子まつり」が今年も盛大に開催されました。

1年生は、2年生が考えてくれた色々なゲームや出し物に大喜びで、会場は大賑わいでした。1年生に優しく声をかけながら、まつりを盛り上げようと頑張っている2年生の姿が、とても微笑ましく、頼もしく見えました。



6年生 社会科見学 12/19(木)

6年生が国会議事堂と科学技術館、昭和館へ行きました。国会議事堂では衆議院を見学し、廊下に敷かれた赤いじゅうたんのの上を歩き、皇族が使う部屋や本会議場を見学しました。科学技術館では、見学や体験を通して科学の楽しさや不思議さに触れ、昭和館では、戦中・戦後の人々のくらしについて、展示を見たり体験したりして、学習を深めることができました。



ライズeライブラリの「家庭学習サービス」について

ライズeライブラリの「家庭学習サービス」を始めました。家庭学習のツールの一つとしてご活用ください。川辺小のホームページ(の下の方)にeライブラリへつながるボタンを付けましたので、ここから入ることができます。

このボタンです。

